

# 第1回盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略 アドバイザーボード

戦略立案に向けた協議資料

2022年10月20日

# 目次

<b>1. アドバイザリーボードの役割について</b>	…	<b>P2</b>
<b>2. 盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略の策定について</b>	…	<b>P4</b>
(1) 戦略策定の背景と目的	…	P5
① 戦略策定の背景	…	P6
② 戦略策定の目的	…	P8
(2) 本戦略の位置づけ	…	P11
① 本戦略の位置づけ	…	P12
② デジタル田園都市国家構想との関係性	…	P14
(3) 本戦略の骨子	…	P15
① 本戦略の構成（目次案）	…	P16
② 本戦略の骨子（案）	…	P17
③ 戦略期間	…	P18
④ 推進体制（案）	…	P19
(4) 戦略策定プロセスについて	…	P20
① 戦略策定手順	…	P21
② 戦略策定スケジュール（案）	…	P22
<b>3. デジタル田園都市国家構想交付金の活用</b>	…	<b>P23</b>
① デジタル田園都市国家構想交付金の概要	…	P24
② 実装TYPE1の活用方針	…	P27
③ 実装TYPE2の活用方針	…	P28
④ 想定事業一覧（2022年10月時点）	…	P29

# 1. アドバイザリーボードの役割について

# アドバイザーボードの役割

- 令和4年度中に策定する「（仮称）盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略」の内容について、委員それぞれの立場から次の理念に基づき忌憚のない意見をお願いします。
  - ・ 本市の現状、魅力を念頭に、“盛岡らしさ”を残したまま、利便性、生産性の向上を図る。
  - ・ 本市が抱える地域課題を解決するためのデジタル化という視点と、本市が有している魅力をより向上させるための助けとなるデジタル化という視点を持つ。
  - ・ デジタル×まちづくりを基軸として構成するが、アナログ文化も大切にする視点を持つ。
  - ・ 行政からの一方向からだけでなく、民間が積極的にデジタル化の推進に取り組む契機とする。
  - ・ 誰もが気軽にデジタルの恩恵を受けられるよう、デジタルデバイド対策に配慮する。

## 2. 盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略の策定について

## (1) 戦略策定の背景と目的

# ① 戦略策定の背景 (1/2)

## 背景

- 我が国では、2000年代に入ったころから、人口減少、少子高齢化が危惧され、労働生産人口の減少、社会保障費の増大等多くの課題の解決の一つとして、デジタル技術を用いた生産性の向上と労働人員の再分配が国において提言されてきました。
- そんな中、2019年末に第1例目の感染者が報告されてから瞬く間に世界中に新型コロナウイルス感染症が拡大し、国内でも「新しい日常」と言われるような新生活様式（非接触、手洗い・消毒、3密回避等）が根付いてきており、これまでの“オフライン”行動から、デジタルを活用した“オンライン”行動（例：Eコマースの活用、配達サービスによる物品購入など）が国が当初想定していた以上の速さで一般化されてきました。
- 各省庁や一部の地方自治体でのDX化が進む中、2021年にはデジタル庁が発足し、同年、デジタル田園都市国家構想が政府から発表されるなど、国全体としてデジタル活用の推進による社会課題の解決や生活向上、国内経済の成長が目指されている状況です。
- このような状況の中で、盛岡市として地域の持続的な成長と市民のよりよい暮らしを目指し、戦略的なデジタル化推進により、魅力的なまちづくりを図る必要があります。



# ① 戦略策定の背景 (2/2)

## マクロ環境の変化／社会変化のきざし

マクロ環境 の変化	政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界情勢の不安定化 (VUCA社会)</li> <li>国内景気対策の停滞 (財源不足により施策のテコ入れがしにくい)</li> </ul>
	経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>長引く国内の経済低迷および地方経済 (特に中小企業) の疲弊</li> <li>第3次産業の拡大と地場産業の衰退</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化による働き手不足</li> <li>コロナ影響による新しい日常</li> </ul>
	技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>革新技術 (AI、5G等) の進化</li> <li>デジタルリテラシー格差の拡大</li> </ul>
社会変化 のきざし	機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル庁の発足</li> <li>デジタル田園都市国家構想の策定</li> <li>自治体DX推進計画の策定</li> </ul>
	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートシティやスーパーシティなどの取組みに対する国の支援</li> <li>副業やリモートワーク等の新しい働き方の拡大</li> </ul>
	活用拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>5GネットワークやAIやRPAの汎用的な利用拡大</li> <li>ブロックチェーンやNFT、量子コンピューティングなどの新技術活用の拡大</li> </ul>

## 盛岡市に寄せられた市民/企業からのデジタル化要望※

※ 本業務で実施した庁内職員向けアンケート結果より、一部抜粋



- ✓ 手続き書類や申請書類を紙ではなく、デジタル対応してほしい
- ✓ 説明会などの連絡はメールなどでプッシュ型にて送ってほしい



- ✓ 申請手数料などを電子決済 (キャッシュレス) 可能としてほしい
- ✓ 電子契約ができるようにしてほしい



- ✓ 公共施設には、もれなくWiFiを設置してほしい
- ✓ 学校におけるICT機器の充実化をはかってほしい
- ✓ オンライン面談を可能にしてほしい



- ✓ 企業のデジタル化投資に活用できる補助金を教えてほしい
- ✓ デジタル人材の獲得、育成支援をしてほしい

## ② 戦略策定の目的

### 目的

- 本戦略の策定後、産学官の連携により、産業・交通・観光・防災・社会福祉・教育等の盛岡市が抱える課題解決と、歴史・自然・祭り・スポーツ・文化・飲食等の盛岡市が保有する資源・資産の成長・発展をデジタル実装を通じて実現し、地方創生を図りながら持続可能な経済社会の実現を目指します。



### 目指す姿の実現

過去と未来の  
“盛岡らしさ”を支える  
デジタル推進

# 【参考】盛岡が抱える主な社会課題の例

分類	主な現状（課題点）	現状のファクト（データ）
<p data-bbox="124 482 198 518">まち</p> 	<p>a. 中心市街地の魅力や求心力が低下</p> <p>b. 地価や賃貸相場が比較的高い傾向にある</p> <p>c. 小中学生の学力（特に思考力）が低い</p>	<p>✓ 郊外に対する年間小売販売額の割合が継続して減少</p> <p>✓ 賃料は東北6県の県庁所在地で最も高い</p> <p>✓ 全国平均と比べて国数の思考力が低い（特に数学は全ての項目で全国平均以下）</p>
<p data-bbox="124 818 198 853">ひと</p> 	<p>d. 若者層の市外転出が多い</p> <p>e. 婚姻数・出生数ともに減少が続く</p> <p>f. 一人あたりの所得が低い（低賃金）</p>	<p>✓ 20～24歳（学生層）が大幅に転出超過となっている</p> <p>✓ 特に出生数は、5年で10%も低下している</p> <p>✓ 全国平均から約60万円/年も低い（同規模の水戸市と比べて約95万円/年も低い）</p>
<p data-bbox="112 1153 211 1189">しごと</p> 	<p>g. 第3次産業の割合が高い</p> <p>h. 地域経済が停滞（労働生産性が低い）</p> <p>i. 魅力的な企業・求人が少ない</p>	<p>✓ 全国平均に比べて約10%も第3次産業の割合が高い</p> <p>✓ 全国平均から約300万円/年も低い（同規模の水戸市と比べて約250万円/年も低い）</p> <p>✓ 東京都内の企業に比べ、盛岡市内の企業に対する評価が低い</p>

# 【参考】盛岡が保有する資源・資産

盛岡がもつ“文化”や“自然”といった資源を活かして  
持続可能な“経済”と“社会”を発展させていくことが重要

- ✓ 城下町（盛岡城・町家・街並み）
- ✓ 豊かな自然（河川・山・公園）
- ✓ 歴史・文化（文化人・工芸品）
- ✓ 観光（飲食・祭り）
- ✓ スポーツ（プロスポーツ）
- ✓ 交通（鉄道・高速道路・空港）
- ✓ 安全（少ない事故数・地震に強い）

## (2) 本戦略の位置づけ

# ① 本戦略の位置づけ

- 本戦略は、デジタルを活用した各種事業により、“盛岡市総合計画”に掲げる盛岡市内における地域・市民の将来像や目標達成をはかるための方針および具体的な施策を示すものです。
- また、行政内のデジタル推進を目的とした“盛岡市行政デジタル・トランスフォーメーション推進計画”とは、緊密な連携をとれる計画・体制を構築し、盛岡市全体としてデジタル化が効果的かつ効率的に推進していきます。

盛岡市総合計画（基本構想/実施計画）

期間：2015～2025（10か年）



行政のデジタル推進



地域・市民のデジタル推進

盛岡市行政デジタル・トランス  
フォーメーション推進計画  
期間：2021～2025（5か年）

（仮）盛岡市デジタル化による  
まちづくり推進戦略  
期間：2023～2027（5か年）

# 【参考】関係する戦略・計画との関係性



- 「デジタル・ガバメント実行計画」をベースにしており、行政におけるDX推進をはかる役割を担う計画

- デジタル技術を活用することで、地方の社会課題を解決し、地方活性化を加速させるための国家構想

デジタル・ガバメント実行計画  
(R2.12～R8.3；5年間)

自治体DX推進計画  
(R3.1～R8.3；4年間)

デジタル田園都市国家構想  
(R4.6～)

盛岡市  
行政デジタル・トランスフォーメーション推進計画  
(R3.9～R8.3；4年間)

(仮) 盛岡市デジタル化による  
まちづくり推進戦略  
(R4～R9；5年間)

※自治体DX推進計画の一部を「盛岡市ICT利活用推進指針」でカバー

※取組み施策の整合性やカニバリゼーションに留意

※推進結果の取込みや施策の継続などを検討

※国は、将来”まち・ひと・しごと創生総合戦略”を“デジタル田園都市国家構想総合戦略”に改定する方針

盛岡市ICT利活用推進指針  
(R1～R5.3；4年間)

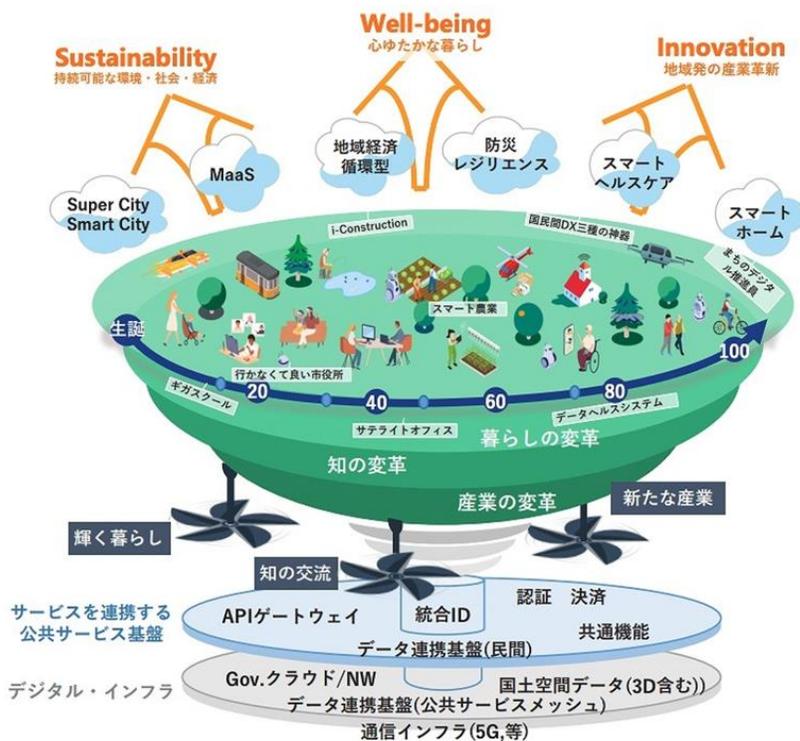
第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
(R2～R6；4年間)

盛岡市総合計画 (H27～R7；10年間)

## ② デジタル田園都市国家構想との関係性

- 本戦略は、『デジタル田園都市国家構想』の取組方針（デジタルの力を活用した地方の社会課題解決（①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる、⑤地域の特色を活かした分野横断的な支援））を基軸としつつ、本市で進める各種計画や指針、戦略との整合性が取れた戦略を推進していきます。

### デジタル田園都市国家構想のイメージ



#### 【目指すもの】

- 地域の「暮らしや社会」、「教育や研究開発」、「産業や経済」をデジタル基盤の力により変革し、「大都市の利便性」と「地域の豊かさ」を融合した「デジタル田園都市国家」を構築する
- 「心豊かな暮らし (Well-being) 」と「持続可能な環境・社会・経済 (sustainability) 」を実現する

① 地方に仕事をつくる

② 人の流れをつくる

③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④ 魅力的な地域をつくる

⑤ 地域の特色を活かした分野横断的な支援

### (仮) 盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略

#### 【戦略の目的】

- 都市全体の指針（行政DXと地域DXを併せた考え）となるデジタル化に関する戦略を策定することで、産学官の連携の下、
- 産業・交通・観光・防災・社会福祉・教育等の盛岡市が抱える課題をデジタル実装を通じて解決し、
- 地方創生を図りながら持続可能な経済社会の実現を目指す

出展：デジタル田園都市国家が目指す将来像について（デジタル庁）

(仮) 盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略

### (3) 本戦略の骨子

# ① 本戦略の構成（目次案）

## 概要版

- A4横（または16:9横）、PPT形式にて整理して公表予定  
※1～2ページ程度で作成

### 【目次】

1. 戦略策定の背景・目的
2. 戦略の位置づけ
3. デジタル化によるまちづくり推進戦略
  1. 本戦略の骨子
  2. 戦略期間
  3. 推進体制
4. 具体的な行動指針と想定事業
  1. 市民の生活
  2. 地域の経済
  3. まちづくり・文化・風土

## 本編

- A4縦、ワード形式にて整理して公表予定

### 【目次】

1. 戦略の概要
2. 戦略策定の背景と目的
3. 戦略策定にあたって
  1. 戦略の位置づけ
  2. 関係する戦略・計画との関係性
4. デジタル化によるまちづくり推進戦略
  1. 本戦略の骨子
  2. 戦略期間
  3. 推進体制
5. 具体的な行動指針と想定事業
  1. 市民の生活
  2. 地域の経済
  3. まちづくり・文化・風土
6. 成果指標（KPI）
  - 用語集

## ② 本戦略の骨子（案）

目指すべき理想像

### 過去と未来の“盛岡らしさ”を支えるデジタル推進

#### ① 市民の生活

R9までの  
到達目標

- 市民一人ひとりにデジタル化による恩恵が広く行き渡り、よりよい“盛岡らしい”暮らしが実現されている

#### ② 地域の経済

- 盛岡にある資源・資産が活用され、地域で育んできた“盛岡らしさ”を残したまま、新たな技術・知見を活用し、デジタルの力で地域経済の成長・発展が実現されている

#### ③ まちづくり・文化

- デジタル化を通じて盛岡が抱える課題を解決し、今ある文化を守りながら、新たな“盛岡らしさ”を創造して持続可能な社会が実現されている

具体的な  
行動指針

- すべての市民が参加できるやさしいデジタル社会を目指す
- デジタル化の恩恵を市民生活に広く行き渡らせ、年代を問わずみんなが住みたい・住み続けたいと思われるまちを目指す
- ライフステージに合わせた暮らしの環境を充実させ、安全安心で便利なまちを目指す

- ICT等の先端技術を活用して地域の資源・資産が活用されるまちを目指す
- 地元企業のデジタル化を推進し、地域の労働力不足の解決および生産性向上を実現し、企業の持続・発展を目指す
- デジタル実装を通して県内外から人や技術・知見を呼びこみ、地域経済の成長・発展を目指す

- 歴史的町並みや文化など、盛岡らしさを活かしながら、持続的かつ革新的な地域の成長・発展を目指す
- デジタル活用による効果的・効率的な都市機能（防災・インフラ関連等）の強化を目指す
- 地域の魅力をデジタルの力で発信することで市内外の多くの人がつながるまちを目指す

### ③ 戦略期間

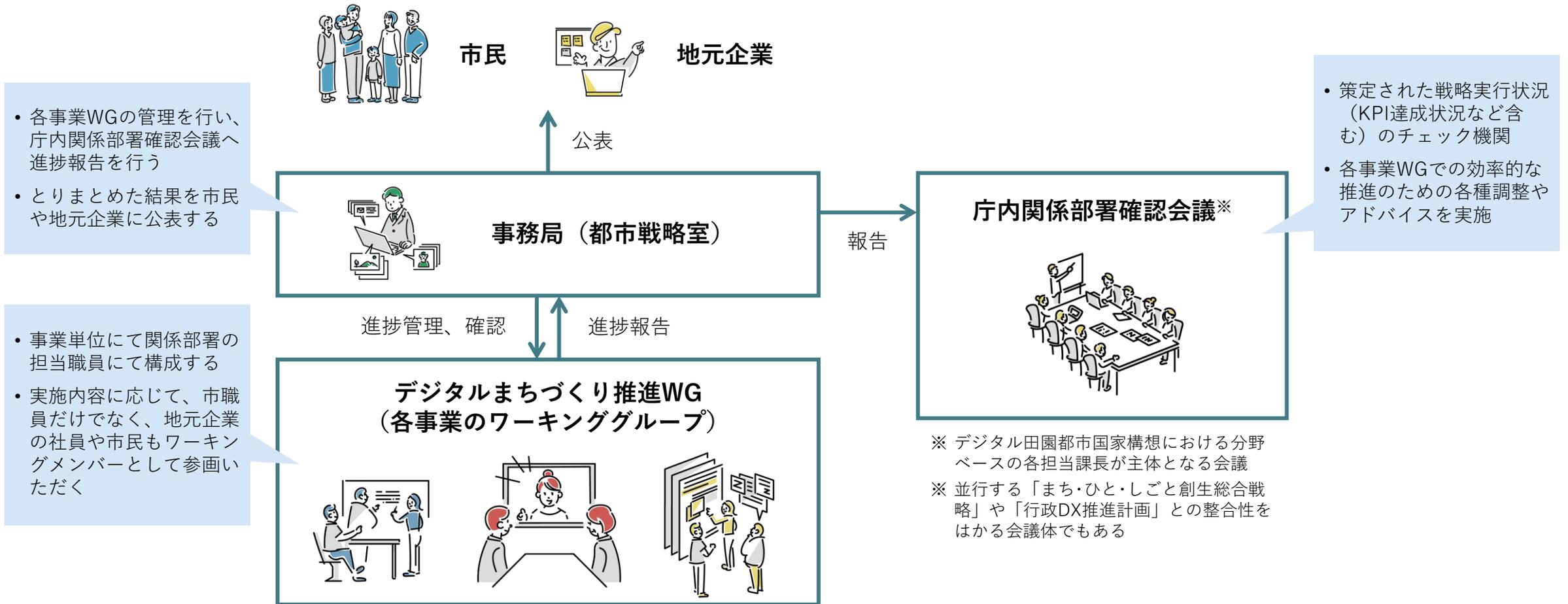
- 本戦略を実行する期間は、令和5年度から令和9年度の5か年とします。
- なお、変化の激しい社会情勢や技術革新の動向および国が進める施策や計画等を注視し、それらの動向を踏まえて必要に応じて戦略を見直すものとします。

戦略期間 : 令和5年度（令和5年4月）～令和9年度（令和10年3月）

戦略・計画	2022 令和4年度	2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度	2027 令和9年度	2028 令和10年度
デジタル化による まちづくり推進戦略		5か年計画（R5～R9）					
まち・ひと・しごと 創生総合戦略	5か年計画（R2～R6）						
行政DX推進計画	5か年計画（R3～R7）						
ICT利活用推進指針	←	4か年計画（R1～R4）					
盛岡市総合計画	10か年計画（H27～R7）						

## ④ 推進体制（案）

- 関係部署の担当職員が中心となる『デジタルまちづくり推進WG』を中心に、本戦略にて立案された各事業を推進します。また、事務局は、それら各WGの管理・確認を実施しつつ、庁内関係部署確認会議へ進捗報告を行います。
- 庁内関係部署確認会議では、戦略の実行状況や各WGにおける効率的な推進のための各種調整やアドバイスを実施します。



## (4) 戦略策定プロセスについて

# ① 戦略策定手順

- 現段階で“骨子策定”まで完了しています。この後、庁内職員向けアンケートおよびヒアリングと市民/企業向けヒアリングを実施し、現場での課題や既存の推進事例などを洗い出していきます。
- その後、具体施策や次年度以降の事業案を立案し、取組み優先順位や評価基準を設定の上、戦略完成を目指します。

## 骨子策定

- 事前調査結果（盛岡市現況や他自治体事例など）を元に、事務局にて戦略骨子（案）を策定
- 庁内関係者との協議等を踏まえ、戦略骨子を策定する

## アンケート ヒアリング

- 現場課題や既存の推進事例等の洗い出しを目的とした庁内職員向けアンケートおよび庁内ヒアリングの実施
- 市民/企業によるデジタル活用要望や地域のデジタル化に向けた課題の洗い出しを目的とした市民/企業向けヒアリングの実施

## 戦略（詳細）策定 事業企画立案

- 現場および市民/企業の意見・要望を踏まえ、盛岡市の課題解決と更なる価値向上に向けた具体的な行動指針および施策を策定する
- 次年度以降にデジ田交付金へ申請し、事業化を目指す事業企画を立案する

## 完成

- 策定した行動指針・施策やデジ田交付金に申請予定の事業の取組み優先順位付けや評価測定基準などを策定する
- 庁内関係部署確認会議や外部有識者会議での承認を経て、戦略完成へ

## ② 戦略策定スケジュール案

- 外部有識者会議は計3回の実施を想定しています。また、外部有識者会議の事前に盛岡市にて庁内関係部署確認会議を実施し、現場意見などを考慮した戦略案を策定していきます。

実施項目	2021年			2022年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
戦略策定に向けた調査分析	継続して各種調査 (盛岡市状況、他自治体事例、デジ田状況等)					
庁内関係部署確認会議	第1回		第2回		第3回	
外部有識者会議	第1回		第2回		第3回	
戦略策定作業（リバイズ作業）		リバイズ		リバイズ		戦略完成
アンケート／ヒアリング	庁内アンケート	庁内ヒアリング 市民・企業ヒアリング				
事業企画立案		次年度以降にデジ田交付金へ申請する事業企画を立案				

### 3. デジタル田園都市国家構想交付金の活用

# ① デジタル田園都市国家構想交付金の概要（1/3）

## 「デジタル田園都市国家構想交付金」の概要について

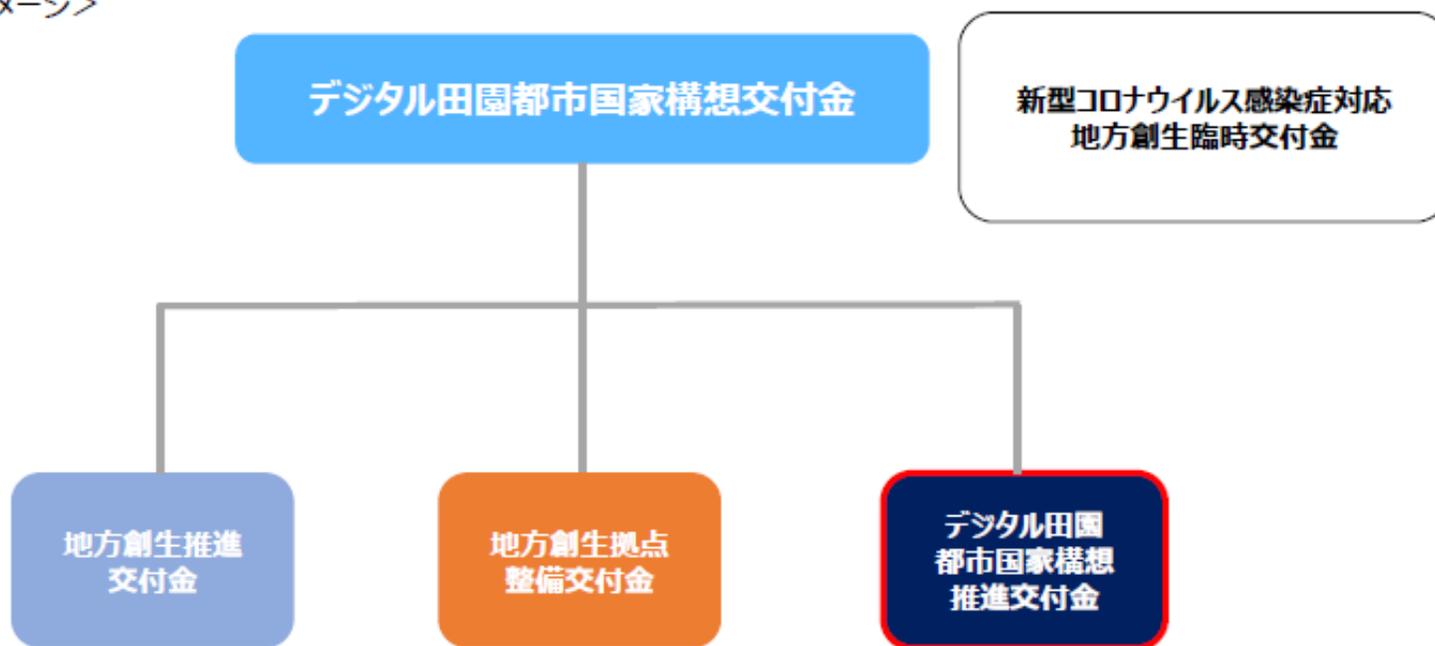


「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向けて分野横断的に支援します

令和5年度概算要求においては、計1,200億円（+事項要求※）を要求しています

※デジタル田園都市国家構想の実現を加速化するための経費

<イメージ>



# ① デジタル田園都市国家構想交付金の概要（2/3）

## 「デジタル田園都市国家構想交付金」の各タイプについて



デジタル実装を支援する「デジタル実装タイプ（仮称）」、中長期的な計画に基づき先導的な取組や施設整備等を支援する「地方創生推進タイプ（仮称）」、「地方創生拠点整備タイプ（仮称）」を設け、それぞれの特性を生かしながらデジタル田園都市国家構想を推進します

### デジタル実装タイプ（仮称）

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、以下の取組を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード/ソフト経費を支援

- 他の地域で既に確立されている優良モデルを活用した実装の取組（優良モデル導入支援型（TYPE1））
- デジタル原則とアーキテクチャを遵守し、オープンなデータ連携基盤を活用する、モデルケースとなり得る取組（データ連携基盤活用型（TYPE2））
- 新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組（マイナンバーカード高度利用型（TYPE3））
- 「転職なき移住」を実現するとともに、地方への新たなひとの流れを創出する取組（地方創生テレワーク型）

### 地方創生推進タイプ（仮称） 地方創生拠点整備タイプ（仮称）

地域再生法に基づき、地方公共団体が策定した地方版総合戦略に位置付けられ、地域再生計画に記載された先導的な取組や施設整備等を安定的かつ継続的に支援

- 自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する先導的な取組や施設整備等（最長5年間）
- 東京圏からのUIターン促進及び地方の担い手不足対策
- 省庁の所管を超える2種類以上の施設（道・污水处理施設・港）の一体的な整備

（参考）「デジタル田園都市国家構想基本方針」（令和4年6月7日閣議決定）  
地方公共団体が、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき行う先導的な事業を安定的かつ継続的に支援するとともに、その用途の拡大に係る検討や運用の更なる改善等を通じて、一層の活用促進を図る。

（注）本交付金の一部は、地方大学・産業創生法に基づく交付金として執行。

# ① デジタル田園都市国家構想交付金の概要 (3/3)

## デジタル実装タイプ (仮称) TYPE1/2/3の全体像について



目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援													
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要な経費を支援 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】(TYPE2の要件を満たす) 新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組													
共通要件	①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立													
詳細	<p>&lt;TYPE別の内容&gt;</p> <table border="1" data-bbox="606 714 1324 1256"> <tr> <td data-bbox="606 714 866 885">                     マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】                 </td> <td data-bbox="866 714 1121 885">                     カードの 新規用途開拓                 </td> <td data-bbox="1121 714 1324 885">                     国費：6億円 補助率：2/3                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 885 866 1028">                     データ連携基盤活用型 【TYPE2】                 </td> <td data-bbox="866 885 1121 1028">                     データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組                 </td> <td data-bbox="1121 885 1324 1028">                     国費：2億円 補助率：1/2                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 1028 866 1142">                     優良モデル導入支援型 【TYPE1】                 </td> <td data-bbox="866 1028 1121 1142">                     優良モデル・サービスを活用した実装の取組                 </td> <td data-bbox="1121 1028 1324 1142">                     国費：1億円 補助率：1/2                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 1142 866 1308">                     計画策定支援事業                 </td> <td data-bbox="866 1142 1121 1308">                     デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援                 </td> <td data-bbox="1121 1142 1324 1308">                     委託事業                 </td> </tr> </table> <p>※申請上限数：都道府県 9事業 市町村 5事業</p>	マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】	カードの 新規用途開拓	国費：6億円 補助率：2/3	データ連携基盤活用型 【TYPE2】	データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2	優良モデル導入支援型 【TYPE1】	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2	計画策定支援事業	デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業	<p>&lt;対象事業 (一例)&gt;</p> <div data-bbox="1370 714 1681 913"> <p>【TYPE3】 マイナンバーカードで各種市民サービスを利用 (図書館利用や遊園地の受付等)</p> </div> <div data-bbox="1717 714 2038 913"> <p>【TYPE2】 複数分野データ連携の促進による 共助型スマートシティ (金澤若松市)</p> </div> <div data-bbox="1370 928 2038 1113"> <p>【TYPE1】 書かない窓口</p> </div> <p>&lt;その他の新規要素&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの利活用促進、スタートアップの活用促進など、国の重要施策を推進する観点からの一定の優遇措置</li> <li>・KPI (デジタル実装1,000団体) 達成に向けたボトムアップ支援</li> </ul>
マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】	カードの 新規用途開拓	国費：6億円 補助率：2/3												
データ連携基盤活用型 【TYPE2】	データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2												
優良モデル導入支援型 【TYPE1】	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2												
計画策定支援事業	デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業												

## ② 実装TYPE1の活用方針

- 既存技術を実装するTYPE 1については、広く全庁に照会を行い、都市戦略室において調整のうえ活用事業を決定する。その際に、地域課題をデジタル技術を活用して解決した実績のあるスキームをお知らせすることでより多くの課等からのエントリーを期待するもの。
- 照会の時期は、国からの実施要綱の発出状況を注視しながら、計画推進経費の要求に間に合う時期までには実施する予定である。

### 【TYPE1】

#### 書かない窓口



#### 地域アプリ



#### 医療MaaS



#### ドローン配送

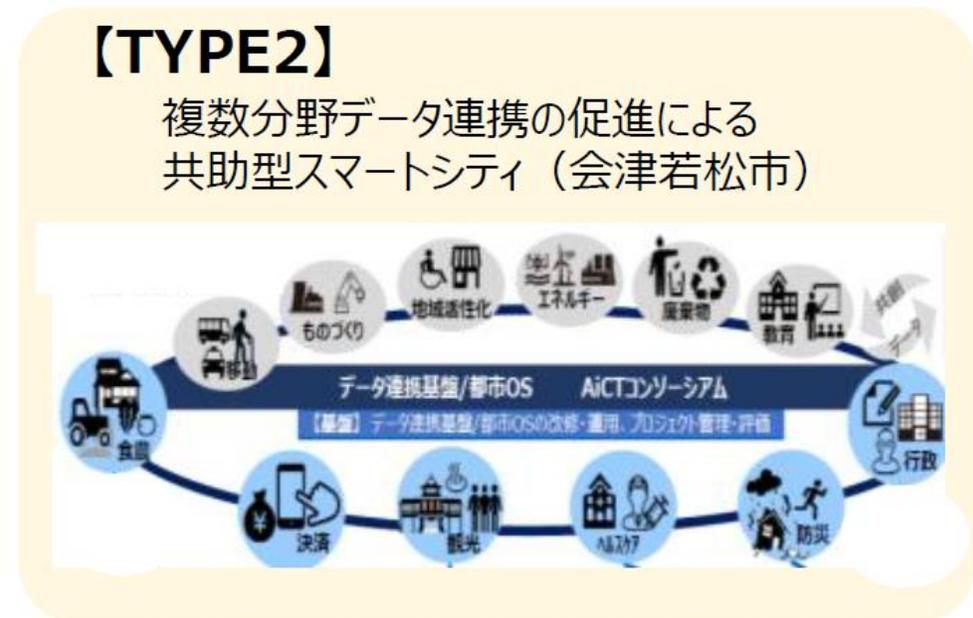


#### 遠隔医療



### ③ 実装TYPE2の活用方針

- TYPE2については、官民によりコンソーシアムの形成や、新たな技術の開発、実装及び全国への横展開がその採択の条件となっておりハードルが高いことから、令和5年度事業において、本市として1件の実施を目指し個別に担当課等と準備をするもの。
- 事務局としては、本市における地域課題とデジタル技術での解決の可能性を勘案し、次の3事業を提案し、担当課と実施の可否について協議を行うもの。
- 実施事業は開発及び実装までは事務局がその事業を主導し、担当課には実装後の運用を担ってもらうことを想定している。



## ④ 想定事業一覧（2022年10月時点）

- 事務局として、2022年10月時点で次年度以降に推進していく事業として、下記のような事業を想定しています
- ただし、今後の戦略策定プロセスにおける検討や協議結果により、次年度以降にデジ田交付金に申請する事業を決定する想定です

### 想定事業名

### 主な内容

1

#### コミュニティ・モビリティ の推進事業

- オンデマンドに利用できる乗合バス等を市内で走行させ、車を持たない市民でも、移動目的地（病院、店舗、公共施設等）にスムーズに移動できるようにする

【類似事例】茨城県つくば市

2

#### ドローンを活用した スマート物流推進事業

- 盛岡南地区物流拠点をハブとして、ドローン配送による買物代行、オンデマンド配送、医薬品配送等を行う

【類似事例】福井県敦賀市

3

#### データ利活用による防災及び 避難時の健康管理事業

- 避難所の情報や、河川・海等に設置したセンサーの情報、市民からの通報情報を一元管理し、市民に正確で素早い災害・避難情報を提供できる仕組みを構築

【類似事例】香川県高松市

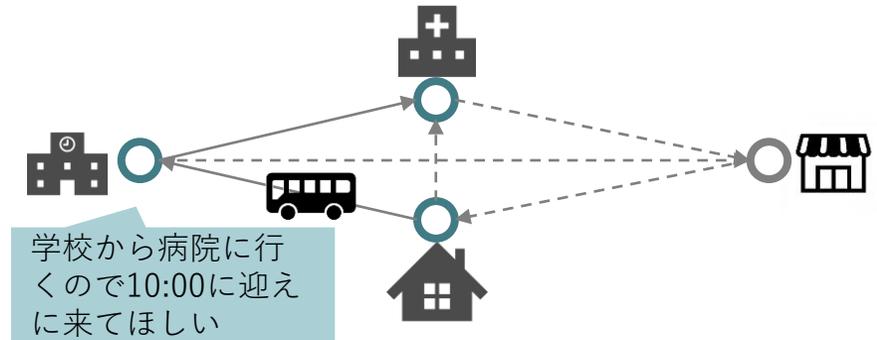
# 想定事業1：コミュニティ・モビリティの推進事業

## 事業概要

- オンデマンドに利用できる乗合バス等を市内で走行させ、車を持たない市民でも、移動目的地（病院、店舗、公共施設等）にスムーズに移動できるようにする
- AI配車サービスを活用したり、“でんでんむし”から見える市民の行先ニーズ等を踏まえたりすることで、乗りたいときに、乗りたい場所で利用することのできるモビリティを実現する

## 事業イメージ

好きな時に、好きな所で乗り降り可能に



## 1年後に目指す姿

- オンデマンドに利用可能なコミュニティモビリティが盛岡中心部において実運用が開始されている
- AI配車サービスを活用し、効率的な配車や走行ルートが実現されている
- 中心部以外の周辺部においても、試験的に運用が開始している

## 類似事業例：茨城県つくば市

- AI配車技術を活用したオンデマンドバスサービスを導入
- 自動走行機能を有するパーソナルモビリティを地区内シェアリングサービスとして導入し、自宅からバス停間の移動もサポート



自動走行のパーソナルモビリティにより、高齢者・障がい者の安心・安全な外出を支援

オンデマンドバスサービスで日常生活における移動目的地へスムーズに移動

買い物、通院、公共施設の他、つくば駅周辺へのアクセスも便利に



「つくばアプリ」からの検索・配車・決済を可能にし、利用しやすい交通サービスを実現

# 想定事業 2：ドローンを活用したスマート物流推進事業

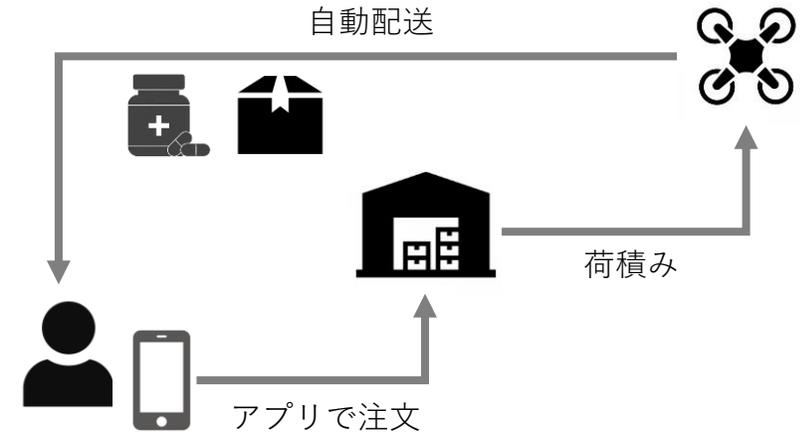
## 事業概要

- 盛岡南地区物流拠点をハブとして、ドローン配送による買物代行、オンデマンド配送、医薬品配送等を行う
- ユーザーがアプリ等を通じて注文商品をインランドデポでドローンに搭載、自動飛行によりユーザーの元に荷物を届ける
- 特に、商店や配達の手が足りない過疎地域においても、欲しいものがいつでも手に入る価値を提供

## 1年後に目指す姿

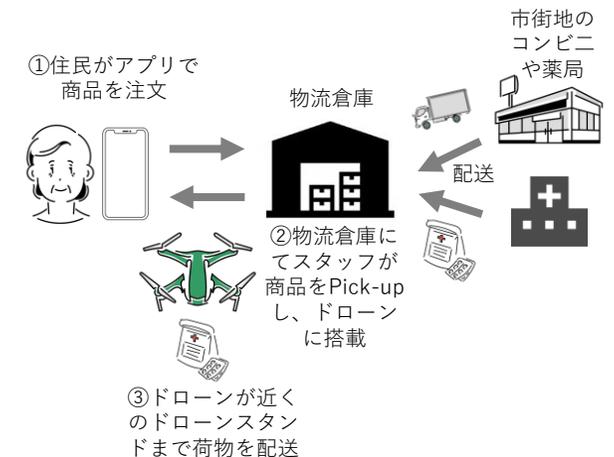
- ドローン配送が実際に過疎地において利用され始めている
- 注文後、最短24時間以内に、ユーザーの手元に荷物を届ける仕組みが構築できている
- 複数の物流企業、コンビニエンスストア、薬局等と連携して、複数の商品がドローンで配送可能になっている

## 事業イメージ



## 類似事業例：福井県敦賀市

- 物流倉庫を拠点として、ドローン配送を組み込んだオープンなプラットフォームを構築
- 買い物代行、オンデマンド配送、医薬品配送、異なる物流会社の荷物の一括配送などを実施

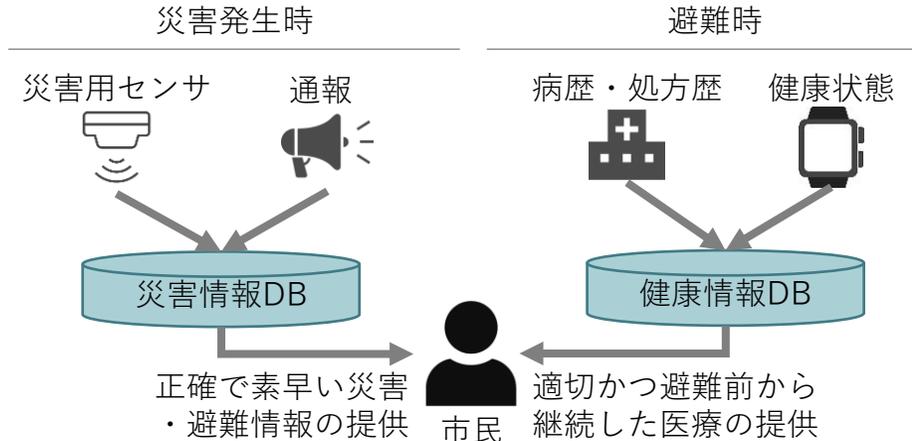


# 想定事業 3：データ利活用による防災及び避難時の健康管理事業

## 事業概要

- 避難所の情報や、河川・海等に設置したセンサーの情報、市民からの通報情報を一元管理し、**市民に正確で素早い災害・避難情報を提供**できる仕組みを構築
- 主に高齢者、障がい者をターゲットに病歴や処方歴等、ウェアラブルデバイス等から得られる健康状態のデータを利用し、避難時においても、**避難前からの継続した医療や、健康状態に即した医療が受けられる仕組みを構築**

## 事業イメージ

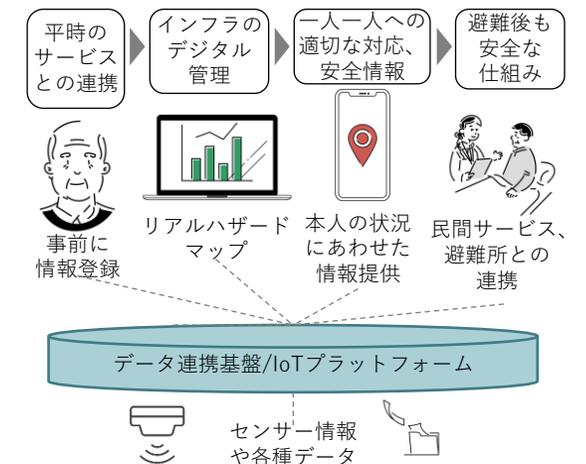


## 1年後に目指す姿

- 避難所の開設状況や混雑状況、備品の状況などを、市民が**Webサイト等で確認できる**
- センサーの情報や市民からの通報情報などの**災害情報を一元管理するデータベースの開発が開始している**
- 高齢者・障がい者の病歴・処方歴、健康状態等の**健康データを保管するデータベース構築の検討が開始している**

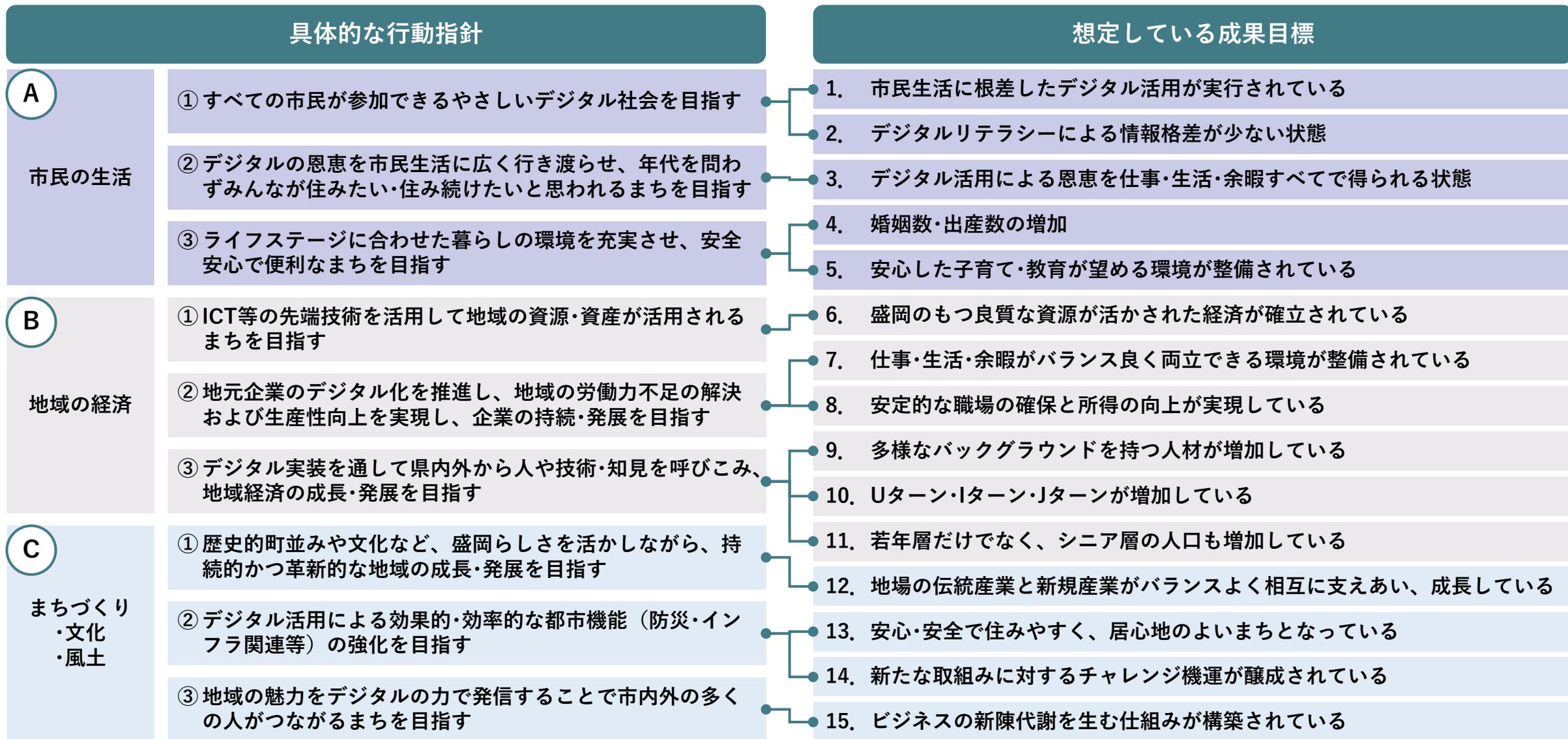
## 類似事業例：香川県高松市

- 水位・潮位センサーとIoT共通プラットフォームを用いてリアルタイムハザードマップを作成
- データ連携基盤上への事前情報登録により、避難時・避難後にも要介護支援者に適切な支援を提供



## 参考. 戦略に掲載を想定している事業

# ① 本戦略の具体的な行動指針と想定している成果目標



## ② 想定している事業（案）の一覧（1/4）

具体的な行動指針		想定している成果目標	想定している事業（案）	想定事業の概要	関連するまちひとしごと戦略の事業
A 市民の生活	① すべての市民が参加できるやさしいデジタル社会を目指す	1. 市民生活に根差したデジタル活用が実行されている	デジタル×モビリティ推進事業	✓ 自動運転バスや、タクシーの相乗りアプリ等、デジタル×モビリティを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡市産学共同研究事業補助金</li> <li>道の駅設置事業</li> </ul>
			デジタル×物流推進事業	✓ ラストワンマイルの自動配達や、ドローンを活用した配達等、デジタル×物流を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡市産学共同研究事業補助金</li> <li>道の駅設置事業</li> </ul>
			行政手続き・情報のデジタル化推進事業	✓ オンライン選挙や、行政情報の一元化、窓口手続きのデジタル化等、デジタル技術を活用して行政サービスの利便性を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> <li>※盛岡市行政デジタル・トランスフォーメーション推進計画の中で定義</li> </ul>
		2. デジタルリテラシーによる情報格差が少ない状態	デジタル施策に関する情報発信事業	✓ 市が実施しているデジタル施策に関する情報を発信する。デジタル技術に慣れていない方のために、オフラインでの周知も実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーションの推進</li> </ul>
			市民へのデジタル教育・サポート事業	✓ デジタル機器の使い方講習や貸し出し等を実施し、すべての方がデジタル技術の恩恵を受けられる機会を創出する	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> <li>※盛岡市行政デジタル・トランスフォーメーション推進計画の中で定義</li> </ul>
	② デジタルの恩恵を市民生活に広く行き渡らせ、年代を問わずみんなが住みたい・住み続けたいと思われるまちを目指す	3. デジタル活用による恩恵を仕事・生活・余暇すべてで得られる状態	デジタルアート事業	✓ デジタルアートを活用した、子供たちの遊び場、学び場を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども未来基金事業</li> </ul>
			デジタル×農業推進事業	✓ ドローンを活用した農薬散布、データを活用した作物管理など、デジタル×農業を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡市山岳共同研究事業補助金</li> <li>新産業等用地整備事業</li> <li>道の駅設置事業</li> </ul>
		4. 婚姻数・出産数の増加	結婚マッチング制度拡充事業	✓ 結婚を希望する人々のマッチング事業を実施し、婚姻数増加を狙う	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき岩手結婚サポートセンターへの参画</li> </ul>
	保育所のDX推進事業		✓ 保育所のデジタル化を行い、保育所の業務を効率化、すべての人が託児できる環境を整え、子育てに対する不安を軽減する	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども未来基金事業</li> </ul>	

## ② 想定している事業（案）の一覧（2/4）

具体的な行動指針		想定している成果目標	想定している事業（案）	想定事業の概要	関連するまちひとしごと戦略の事業
A 市民の生活	③ ライフステージに合わせた暮らしの環境を充実させ、安全安心で便利なまちを目指す	5. 安心した子育て・教育が望める環境が整備されている	母子手帳のデジタル化事業	✓ 母子健康手帳のデジタル化により、子育てを支援する。併せて母子手帳のデータを将来的な施策検討に活用する	• 母子保健事業
			テレワーク環境の整備事業	✓ テレワーク環境を整備する市内企業に対して助成金を出す	• 中小企業生産性向上支援事業 • 中小企業支援に係る金融機関との協定の締結
			GIGAスクール構想の推進事業	✓ タブレット等を活用した教育のデジタル化を推進する	• 子ども未来基金事業
B 地域の経済	① ICT等の先端技術を活用して地域の資源・資産が活用されるまちを目指す	6. 盛岡のもつ良質な資源が活かされた経済が確立されている	アプリを活用した盛岡市内情報の一元化観光事業	✓ 市内の観光情報等を一元化した"もりおかアプリ"等を作成し、観光面での魅力向上を目指す	• 商店街等魅力強化支援事業 • 観光プロモーション事業
			メタバース空間におけるデジタルツイン作成事業	✓ 市内城下町エリア等、魅力あるエリアをメタバース空間で再現、オンラインで観光を可能にする	• 観光プロモーション事業
			デジタル通貨を活用した地域コミュニティ形成事業	✓ 域内で利用できるデジタル通貨を発行し、域内経済の活性化をはかる	• 観光プロモーション事業
	② 地元企業のデジタル化を推進し、地域の労働力不足の解決および生産性向上を実現し、企業の持続・発展を目指す	7. 仕事・生活・余暇がバランス良く両立できる環境が整備されている	職場のデジタイゼーション・デジタイゼーション推進事業	✓ “仕事”以外に割くことができる時間を創出するため、“デジタイゼーション（例：紙からデジタルへ）”“および”デジタイゼーション（例：デジタルツールを活用した業務プロセス改善）”にて業務を効率化して生産性を向上させる	• 中小企業生産性向上支援事業 • 中小企業支援に係る金融機関との協定の締結
			スポーツ観戦のデジタル化推進事業	✓ スポーツ観戦においてARやレジレス販売等を導入し、体験価値を向上させる	• スポーツ・ツーリズムの推進
		8. 安定的な職場の確保と所得の向上が実現している	中小企業のデジタル化推進事業	✓ 中小企業のデジタル化推進を支援する	• 中小企業生産性向上支援事業 • 中小企業デジタル化促進モデル事業
盛岡市内大卒者等の優秀なデジタル人材に対する起業支援事業	✓ 盛岡大学等、盛岡市内の大学を卒業した優秀な若者等による企業を支援する		• 創発支援事業 • 市インキュベーション施設の管理運営事業		

## ② 想定している事業（案）の一覧（3/4）

具体的な行動指針		想定している成果目標	想定している事業（案）	想定事業の概要	関連するまちひとしごと戦略の事業
<b>③</b> デジタル実装を通して県内外から人や技術・知見を呼びこみ、地域経済の成長・発展を目指す <b>⑤</b> 地域の経済	<b>9.</b> 多様なバックグラウンドを持つ人材が増加している	<b>首都圏デジタル人材と地場企業のマッチング事業</b>	✓ 副業を希望する首都圏のデジタル人材と、知見を欲する地場企業のマッチングを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住・就労マッチング支援事業</li> <li>総合交流ターミナル機能拡充事業</li> </ul>	
		<b>デジタル人材が集まるシェアオフィス設立事業</b>	✓ デジタル人材が集まり、自由闊達に意見交換等が交わせるシェアオフィスを設立する	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合交流ターミナル機能拡充事業</li> <li>定住化対策空き家利用促進事業</li> <li>官民連携による移住・交流を促進するための拠点の整備</li> </ul>	
	<b>10.</b> Uターン・Iターン・Jターンが増加している	<b>町屋を活用したワーケーション推進事業</b>	✓ 市外人材が、盛岡市の名所である町屋でワーケーションを行えるようにすることで、人材流入を狙う	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住・就労マッチング事業</li> <li>シティプロモーションの推進</li> <li>総合交流ターミナル機能拡充事業</li> <li>お試し居住事業</li> <li>移住/定住の促進に係るプロモーション</li> <li>盛岡広域移住・定住促進事業</li> <li>定住化対策空き家利用促進事業</li> </ul>	
		<b>デジタル技術を活用した盛岡市の魅力発信事業</b>	✓ デジタル技術（SNSやyoutube,note等）を活用して盛岡市の魅力を発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーションの推進</li> </ul>	
		<b>市外企業のサテライトオフィス招致事業</b>	✓ 市外の大企業やスタートアップのサテライトオフィスを招致し、働き場所を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域企業誘致推進事業</li> </ul>	
	<b>11.</b> 若年層だけでなく、シニア層の人口も増加している	<b>デジタルを活用した医療・介護推進事業</b>	✓ オンライン診療の推進や、ウェアラブル機器の配布による健康データの蓄積と活用を想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長分野拠点形成支援事業</li> <li>新産業等用地整備事業</li> </ul>	
		<b>デジタルヘルス分野におけるベンチャー企業等に対する創業支援事業</b>	✓ デジタルヘルス分野におけるベンチャー企業の創業支援を行う（メンターの紹介やピッチイベント等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>創発支援事業</li> <li>市インキュベーション施設の管理運営事業</li> <li>成長分野拠点形成支援事業</li> <li>新産業等用地整備事業</li> </ul>	
		<b>デジタルヘルス分野企業における税制優遇事業</b>	✓ デジタルヘルス分野における企業への税制優遇を行い、「医療・福祉特区 盛岡」を実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長分野拠点形成支援事業</li> <li>新産業等用地整備事業</li> </ul>	

## ② 想定している事業（案）の一覧（4/4）

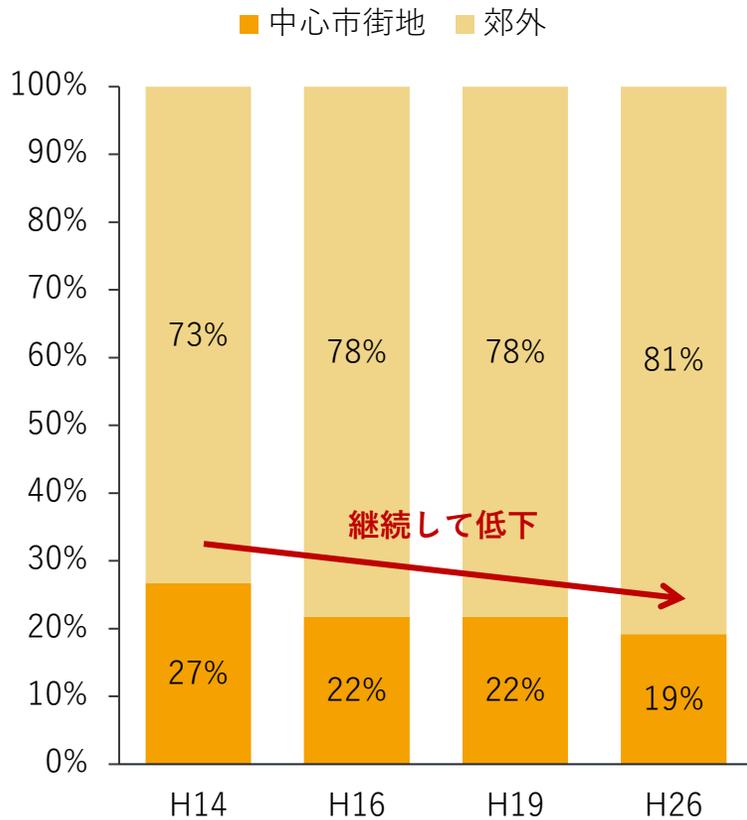
具体的な行動指針		想定している成果目標	想定している事業（案）	想定事業の概要	関連するまちひとしごと戦略の事業
◎ まちづくり ・文化 ・風土	① 歴史的町並みや文化など、盛岡らしさを活かしながら、持続的かつ革新的な地域の成長・発展を目指す	12. 地場の伝統産業と新規産業がバランスよく相互に支えあい、成長している	デジタル活用による販路拡大推進事業	✓ ECサイトの充実やインフルエンサーの活用等により、地場企業が新たな販路を拡大することを支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街等魅力強化支援事業</li> <li>中小企業生産性向上支援事業</li> </ul>
			地場産業のデジタル化達成企業への補助事業	✓ 地場企業のデジタル化に対する支援や、デジタル化を達成した企業への経済的支援等を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業生産性向上支援事業</li> <li>中小企業デジタル化促進モデル事業</li> <li>伝統産業振興事業</li> </ul>
	② デジタル活用による効果的・効率的な都市機能（防災・インフラ関連等）の強化を目指す	13. 安心・安全で住みやすく、居心地のよいまちとなっている	個人の健康データ活用事業	✓ 個人の健康データ（PHR）を活用した健康増進事業を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長分野拠点形成支援事業</li> </ul>
			災害データを活用した危険地域予測事業	✓ 過去の災害データ等を活用し、市内の危険地域を予測し、防災に役立てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡市産学共同研究事業補助金</li> </ul>
		14. 新たな取組みに対するチャレンジ機運が醸成されている	創業支援事業（デジタル）	✓ デジタル技術を活用した起業を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>創発支援事業</li> <li>市インキュベーション施設の管理運営事業</li> </ul>
			第二創業支援事業（デジタル）	✓ 既存企業の新規事業参入など、第二創業を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>創発支援事業</li> <li>市インキュベーション施設の管理運営事業</li> </ul>
			シリアルアントレプレナー創出事業	✓ シリアルアントレプレナー（連続して複数社を起業している人材）が盛岡市で起業できるよう支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>創発支援事業</li> <li>市インキュベーション施設の管理運営事業</li> </ul>
		③ 地域の魅力をデジタルの力で発信することで市内外の多くの人がつながるまちを目指す	15. ビジネスの新陳代謝を生む仕組みが構築されている	地場企業の承継支援	✓ 事業承継を希望する人材とのマッチング事業を推進する
	デジタル人材のスキルセットDB構築事業			✓ デジタル人材に必要なスキルセットを整備、周知することで市内のデジタル人材育成機運を醸成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業人材育成支援事業</li> </ul>

## 参考. 各種データ

# “まち”観点における地域の現状ファクト（データ）

中心市街地の魅力や求心力が低下

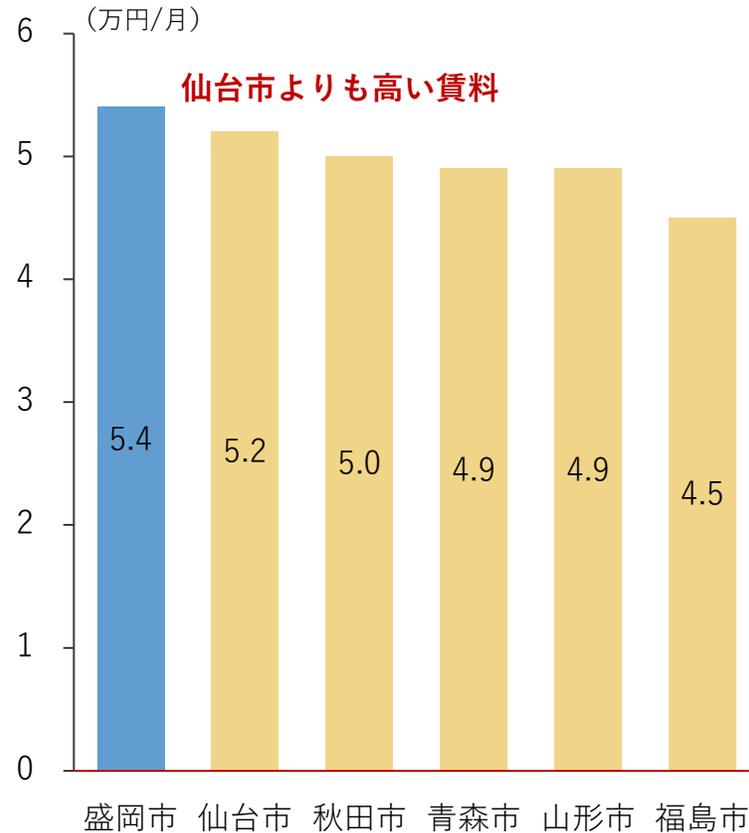
- 盛岡市の中心市街地の年間小売販売額の割合は、対郊外店舗と比べて徐々に低下しており、中心市街地への魅力や求心力が弱くなってきている



参照：経済産業省（商業統計調査報告書）

地価や賃貸相場が比較的高い傾向にある

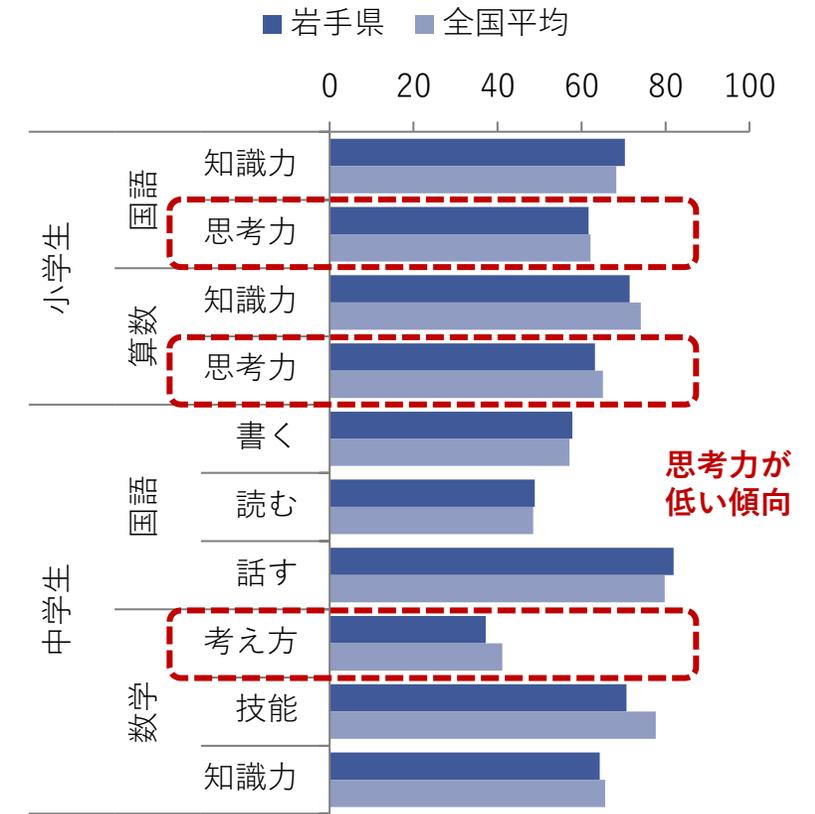
- 東北6県の県庁所在地における賃料平均では、仙台市よりも高い
- 地価は仙台よりも低いが他5都市より高い



参照：スーモ（全国の家賃相場・賃料相場情報）

小中学生の学力（特に思考力）が低い

- 岩手県のデータとなるが、全国平均と比べて国語や算数（数学）の思考力が低い傾向にある
- 数学は全ての項目で全国平均以下となっている

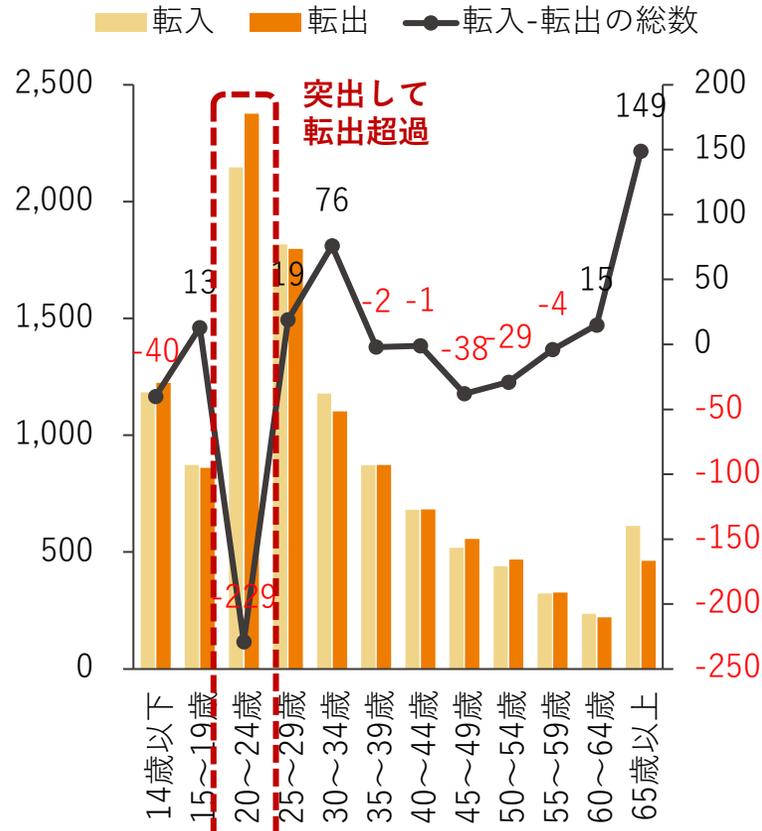


参照：国立教育政策研究所\_R3全国学力・学習状況調査

# “ひと”観点における地域の現状ファクト（データ）

若者層（20～24歳）の市外転出が多い

- 地場の大学や専門学校を卒業した世代（20～24歳）の市外転出が他世代に比べて突出して多い
- 30代では転入が多い等、Uターンの期待が持てる

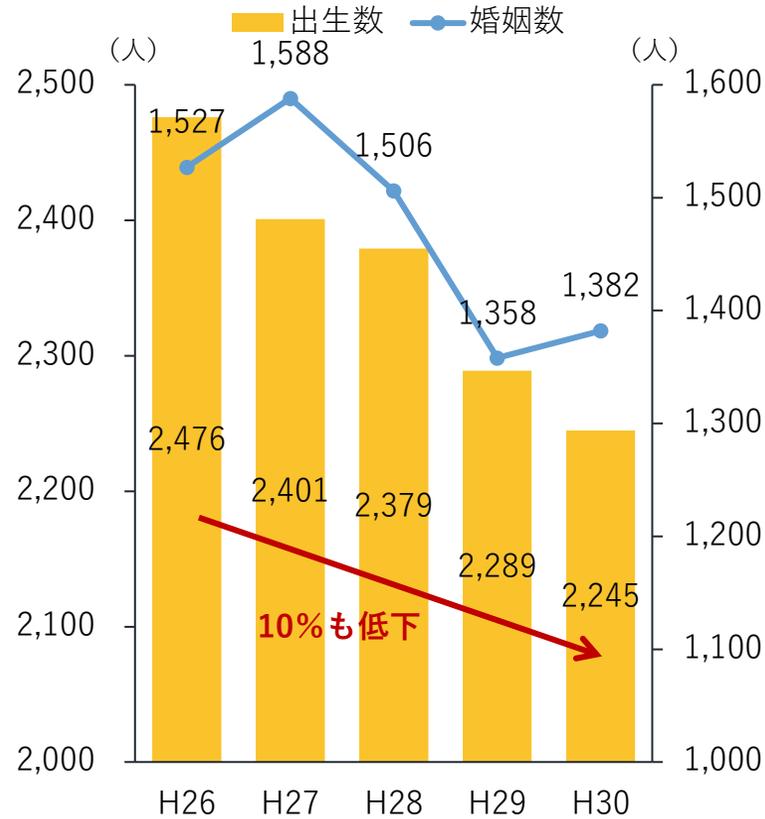


出所：住民基本台帳人口移動報告 年報（2021年度）

（仮）盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略

婚姻数・出生数ともに減少が続く

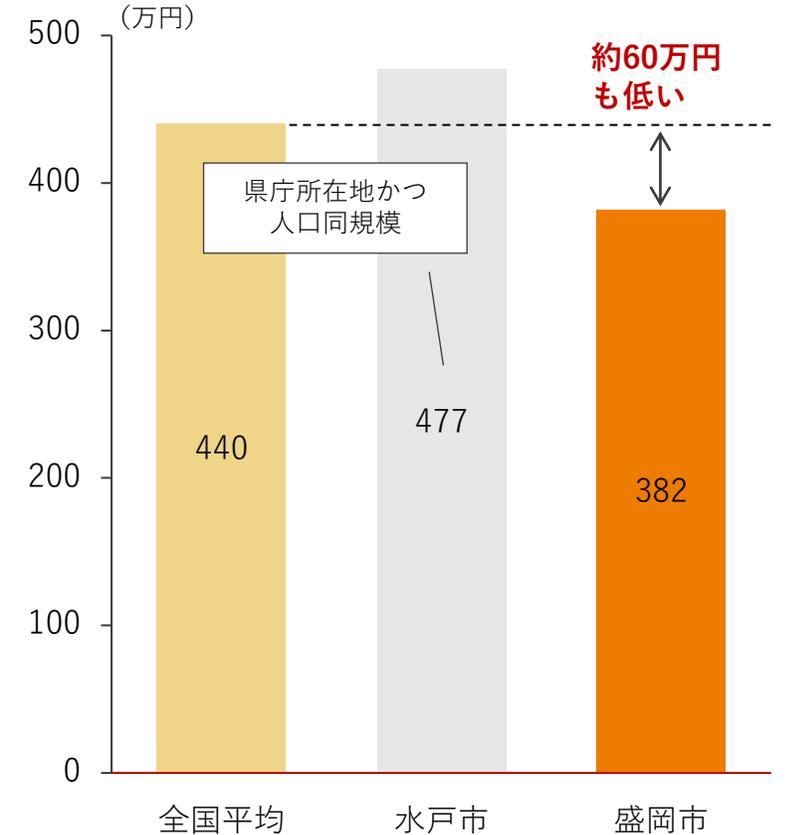
- 婚姻数・出生数ともに減少傾向
- 婚姻数はH29→H30で回復したが、出生数は継続して減少している（5年で10%減少）



参考：第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

一人あたりの所得が低い（低賃金）

- 全国平均に比べて約60万円/年ほど所得が低く、同程度の人口規模である水戸市と比べて約95万/年も低い結果となっている



出所：H28経済センサス

# “しごと”観点における地域の現状ファクト（データ）

## 第3次産業の割合が高い

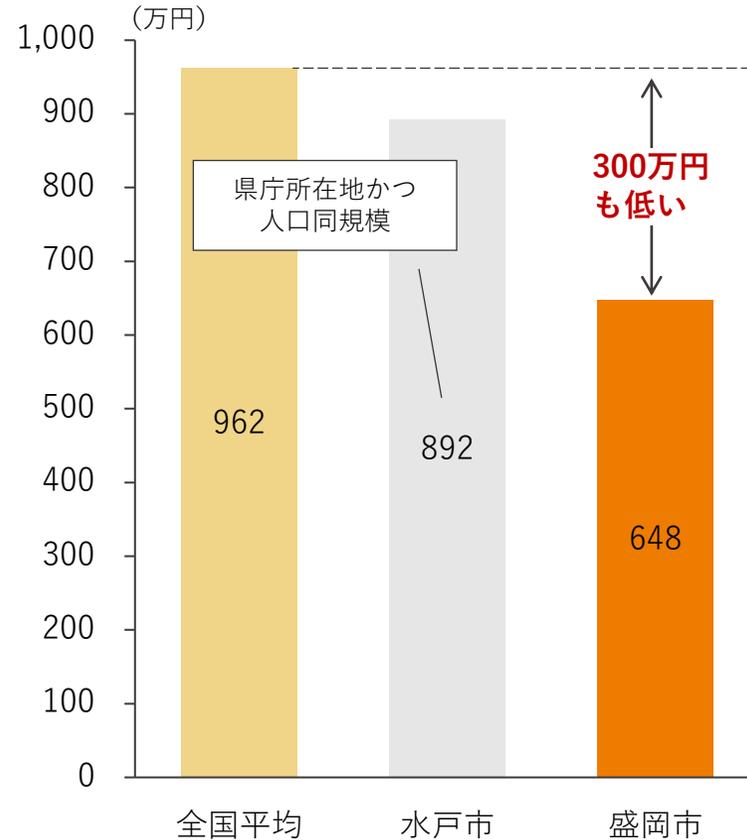
- 全国平均に比べて約10%も第3次産業の割合が高い
- 第3次産業は“サービス業”が多く含まれており、全国型のチェーンビジネス形態であることも多い



出所：R2年度国勢調査

## 地域経済が停滞（労働生産性が低い）

- 全国平均に比べて約300万円/年ほど所得が低く、同程度の人口規模である水戸市と比べて約250万/年も低い結果となっている



出所：H28経済センサス

## 魅力的な企業・求人が少ない

- 東京都内の企業に比べ、盛岡市内の企業に対する評価（オープンワーク社調べ）は低い傾向にある

	盛岡		東京	
	企業名	評価点	企業名	評価点
1位	ワイズマン	3.41	ベイン・アンド・カンパニー	4.87
2位	岩手日報社	3.18	アクシスコンサルティング	4.83
3位	あさ開	3.16	リクルート	4.80
4位	岩手県教育委員会	3.15	グーグル	4.78
5位	エムシーエス生涯学習センター	3.14	マッキンゼー・アンド・カンパニー	4.75

参考：openwork社webサイト

# デジタル田園都市国家構想とは

- 令和4年6月に基本方針が閣議決定され、デジタルインフラを整備して官民双方で地方におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）を積極的に推進するために、①デジタルの力を活用した地方の社会課題解決、②デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備、③デジタル人材の育成・確保、④誰一人取り残されないための取組を4つの柱として取組みを推進するとしています

## 解決すべき地方の社会課題



- **少子高齢化**
  - 出生率：1.45（2015）→1.33（2020）
  - 生産年齢人口：7,667万人（2016）→7,450万人（2021）
- **過疎化・東京圏の一極集中**
  - 東京圏転入超過数：80,441人（2021）
- **地域産業の空洞化**
  - 都道府県別労働生産性格差：最大1.5倍（2018）

## 構想実現に向けた取組み



- **デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備**
  - デジタルインフラの整備
  - マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大
- **デジタル人材の確保・育成**
  - 「デジタル人材地域還流戦略パッケージ」に基づき人材の地域への還流を促進
- **誰一人取り残されないための取組**
  - デジタル推進委員の展開
  - デジタル・デバイドの是正 ほか

## デジタルの力を活用した地方の社会課題解決



- ① **地方に仕事をつくる**
  - 中小・中堅企業DX、観光DX ほか
- ② **人の流れをつくる**
  - サテライトオフィス・キャンパス設置 ほか
- ③ **結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
  - 母子オンライン相談、子供の見守り支援 ほか
- ④ **魅力的な地域をつくる**
  - 教育DX、遠隔医療、MaaS、文化芸術DX ほか
- ⑤ **地域の特色を活かした分野横断的な支援**
  - 交付金による支援、経営人材の展開 ほか

# 国や県も含めた関連計画・戦略の整理

